

25mダブル連結トラック 現状と今後の展望



2022年9月15日

1. はじめに
2. 現在の拠点
3. 現在の運行ルート
4. 拡充希望路線と拠点
5. 今後の課題（お願い）①
6. 今後の課題（お願い）②
7. 乗務員の声
8. 最後に



1. はじめに

平素は、福山通運グループの業務にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

弊社グループは、2017年3月、国土交通省様のダブル連結トラック実証実験に参加させていただき、2017年10月には、日本初となる25mダブル連結トラックの運行を開始いたしました。それ以降、着実に運行経路の拡大を図ってまいりました。

弊社グループでは、最重要課題である2024年問題の対策として、輸送力確保のために輸送手段の多様化を図っており、その選択肢の一つとしてダブル連結トラックの導入を推進しております。国民生活のライフラインである“物流”に影響をきたすことのないようダブル連結トラックの導入により幹線輸送の効率化を図り労働生産性の向上に努めることで、安全・安心を最優先に物流を担う企業としての使命を果たしていく所存でございます。

引き続き皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



出発式の様子

2. 現在の拠点

全国12府県、18拠点で発着可能

- ① 北上支店 (岩手県北上市)
- ② 栃木支店 (栃木県栃木市)
- ③ 大宮支店 (埼玉県蓮田市)
- ④ 入間支店 (埼玉県入間市)
- ⑤ 裾野営業所 (静岡県裾野市)
- ⑥ 静岡支店 (静岡県静岡市)
- ⑦ 豊橋支店 (愛知県豊川市)
- ⑧ 一宮支店 (愛知県一宮市)
- ⑨ 名古屋支店 (愛知県北名古屋市)
- ⑩ 岐阜支店 (岐阜県岐阜市)
- ⑪ 京都支店 (京都府京都市)
- ⑫ 大阪支店 (大阪府大阪市)
- ⑬ 阪神支店 (兵庫県尼崎市)
- ⑭ 福山支店 (広島県福山市)
- ⑮ 廿日市支店 (広島県廿日市市)
- ⑯ 下関支店 (山口県下関市)
- ⑰ 福岡流通センター (福岡県福岡市)
- ⑱ 福岡支店 (福岡県福岡市)



福岡支店



福岡流通センター



大宮支店



入間支店



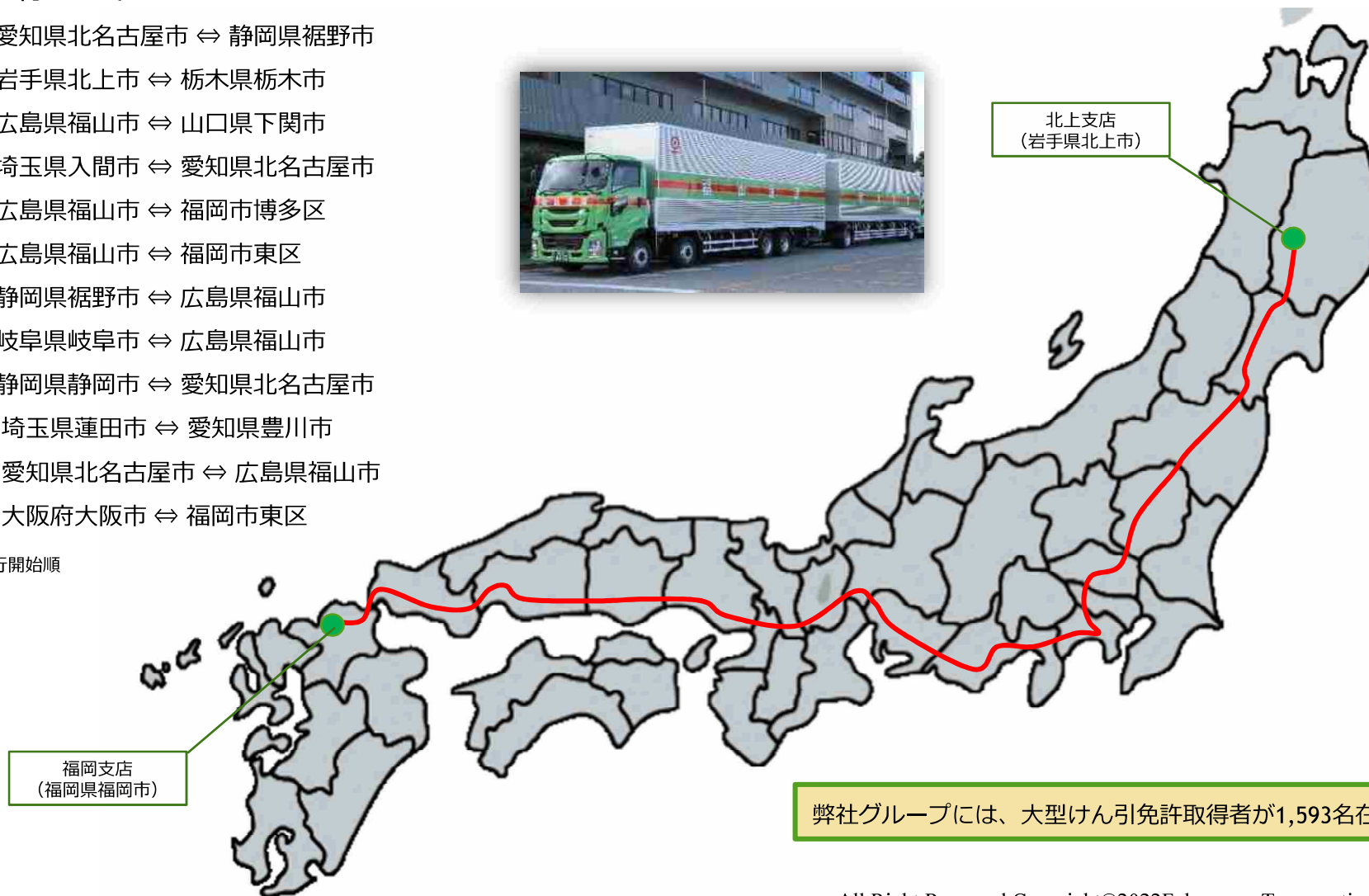
3. 現在の運行ルート

2023年7月までに20両の増車予定 現在24両で12コースを運行中

<運行ルート>

1. 愛知県北名古屋市 ⇄ 静岡県裾野市
2. 岩手県北上市 ⇄ 栃木県栃木市
3. 広島県福山市 ⇄ 山口県下関市
4. 埼玉県入間市 ⇄ 愛知県北名古屋市
5. 広島県福山市 ⇄ 福岡市博多区
6. 広島県福山市 ⇄ 福岡市東区
7. 静岡県裾野市 ⇄ 広島県福山市
8. 岐阜県岐阜市 ⇄ 広島県福山市
9. 静岡県静岡市 ⇄ 愛知県北名古屋市
10. 埼玉県蓮田市 ⇄ 愛知県豊川市
11. 愛知県北名古屋市 ⇄ 広島県福山市
12. 大阪府大阪市 ⇄ 福岡市東区

※運行開始順



弊社グループには、大型けん引免許取得者が1,593名在籍

4. 拡充希望路線と拠点

高速道路の通行許可路線の拡充を

- 現在の通行許可路線
- 拡充を希望する路線



5. 今後の課題(お願い)①

各道路管理者様による審査について

通行区間の許可申請において、最寄りの高速道路ICから営業所までの通行経路における各道路管理者様との事前協議（調整）の際、超寸法車両であることのみで「C条件」とされる場合があります。細かく説明し、条件緩和をしていただける場合がある一方、規則があるから、前例がないから、国土交通省等からの具体的な指示が無いから等という観点から、協議以前に判断される場合があります。

地方自治体等のご担当者様とのやり取り際に、「規則を変更（緩和）するように国から通達等が発出されれば協議に応じることができる。」と言われることが多くあります。



2024年問題への対応、環境対策効果、車両の軌跡と安全性等を考慮していただき、通行に大きな問題が発生しない道路では、地方自治体様が定める規則の例外として審査していただける旨の通達を発出させていただきますようお願いいたします。

特殊車両通行許可申請について

- ・ 国道、県道、市道について、道路条件をデータベースに集録していただくと業務の簡素化、スピード化を図ることができます。
- ・ トレーラが同一型式であれば、追記として認めていただけますようお願いいたします。

6. 今後の課題(お願い)②

都市高速の通行について

弊社は小口混載貨物をメインとする輸送を行っており、特に、東京⇔名古屋⇔大阪の輸送量が大きな割合を占めています。現在の許可高速道路は、東北道⇔新東名⇔名神⇔山陽道⇔九州道と拡充いただいておりますが、主要都市である東京都内、名古屋市内、大阪市内等の都市高速道路については、許可をいただいております。首都高速湾岸線や阪神高速湾岸線等、ダブル連結トラックの通行の影響が比較的少ないと思われる区間から、段階的に許可をいただきたくお願いします。

首都高速湾岸線や阪神高速湾岸線等、ダブル連結トラックの通行の影響が比較的少ないと思われる区間から、段階的に許可をいただきたくお願いします。

駐車場所の確保について

法令遵守、ドライバーの事故防止の為に、是非ともお願いします。

今後の展望について

全日本トラック協会を通じて提出した希望するコースについて、個別審査の進捗状況を教えていただけませんか。今後の導入拡大を図る計画の中で将来の展望が見えません。

ダブル連結トラックで運行している乗務員の実際の意見をまとめました。

「PAのダブル連結トラック用の駐車場所に一般の大型車両が止めていることがあり、休憩できないことがあります。有料であっても専用場所を確保してほしい。」

「高速道路が通行止めになった場合、次のICで降りるように指示があります。許可以外のICで降りた後の一般道は走行できないので、本線上若しくは、駐車帯等で待機させてもらえないでしょうか。」

「工事等で、東名、新東名が通行できない期間は、迂回ルートとして中央道を走行できるようにできないでしょうか。同様に、山陽道が通行できないときは中国道を通行したい。」

8. 最後に

今後も、ダブル連結トラックの先駆として、
安全・安心な輸送サービスの提供に努めてまいりますので、
引き続き皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。
本日はご清聴ありがとうございました。

